

研究クラスター・プロジェクト名	
題目	本庄市元小山川浄化システムに関する包括的研究
著者	榊原 豊

小山川、小山川水系では環境の再生と保全に向けた諸活動が実施されている。また、新しい調査研究プロジェクトの企画や NPO 法人の設立など、今後の展開が期待されている。このような背景から、「水環境の再生と保全に関するシンポジウム 2009 元小山川、小山川水系を事例として」を開催した。本シンポジウムでは、水環境の再生と保全に関わる「調査・研究」、「再生技術・再生事業」、「教育・啓蒙活動」の視点から、以下のような講演並びに討論が行われた。

日時：2009年3月28日(土)午後13:00~16:30

場所：早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター

プログラム

開会挨拶

【調査・研究】(座長：木持 謙)

1. 埼玉県河川の河川に生息する魚類について(金澤 光、埼玉県環境科学国際センター)
2. リアライクリスクアセスメントによる生息魚類の予測と評価について(榊原 豊、早稲田大学)
3. イオン交換材料の開発と環境保全への適用について(山崎淳司、早稲田大学)

【再生技術・再生事業】(座長：松寄隆良)

4. 清流ルネッサンス 事業の進捗状況と今後の課題(林 尚史、埼玉県県土整備事務所)
5. 植生を用いた河川浄化技術の開発(木持 謙、埼玉県環境科学国際センター)
6. 川の再生事業例(鮎の産卵場の再生)について(作田 裕、(株)建設環境研究所)

【教育・啓蒙活動】(座長：金澤 光)

7. 小学生による元小山川・小山川河川調査(田村純夫、本庄市立藤田小学校)
8. 本庄市の水環境改善施策について(内笹井武登志、本庄市役所)
9. 市民連携とNPOの設立について(大塚岳史、NPO法人「川・まち・人プロジェクト」)

【総括討論】河川の再生と保全に向けた今後の活動について(司会：榊原 豊)

本研究は、株式会社 からの受託研究資金によって行われました。